



自分の夢や将来への第一歩を踏み出そう!

自分の進路を選択する1年が始まりました。皆さんには「夢」がありますか?どんな将来を描いていますか?この1年間の過ごし方は、人生の上でとても大切な1年になります。これからどんな気持ちで過ごしていくかももう一度考えてみましょう。

3年生は「最高学年」です。皆さんの活動のすべてが、後輩の手本になります。また、3年生は「学校の顔」です。つまり、学校のイメージがみんなの雰囲気や姿勢で決まるということです。人生に二度と来ない中学校生活最後の1年…。ですから、皆さんには、とにかく何事にも真剣に、そして全力で取り組んでほしいです。やはり全力で頑張ることで自分に大きな成長や経験という財産になります。その頑張りが、きっと今後の人生に大きな力となってみんなに返ってくることになります。挨拶、授業中の態度、清掃、歌声活動、部活動など全力で取り組むことでこれからの進路を考える上でも明るい材料へと変わっていくものと信じております。そして、それを自分自身で「決断」することが大事になってきます。

この1年間、3年生の皆さんも、保護者の皆様も色々と不安なことが多いはずですが、しかし、「進路を考える」「自分の将来を考える」ことは、本当は『夢のある、明るいこと』です。中学卒業後の進路先やどこの高校を受けるかを決めることだけが進路の学習ではありません。希望の職業、将来の生き方や夢についても一緒に考えていけたらと思います。この1年間が実り多き年になることを共に願い、前向きに歩いていきましょう。湖北台中学校の職員一同で「夢現～夢の実現」のお手伝いのできたらと思います。どうぞよろしくお願ひいたします。

<お知らせ>

※**進路希望予備調査(5月)**を5月24日(金)に配布しました。進路希望調査は今回を含めて5回行います。ご家庭でお子さまとよく話し合った上でご記入をお願いします。 **提出期限: 5月31日(金)**

◆ あしなが育英会奨学生募集について

対象: 令和6年度に高等学校または高等専門学校に進学を希望し、保護者(父または母)が病気、災害、自死、(交通事故は除く)などで死亡したり、それらの原因により著しい後遺症で働けなかったりして、教育費に困る家庭の子女。 ※募集のしおりは、9月1日ごろにお送りしますとのこと。

◆ 交通遺児育英会奨学生募集について

対象: 令和6年度に高等学校または高等専門学校に進学を希望し、保護者(父または母)が道路における交通事故で死亡したり、それが原因で著しい後遺症で働けなかったりして、教育費に困る家庭の子女。 第1次予約募集〆切: 8月31日 第2次予約募集〆切: 1月31日

☞奨学金について何か詳しいことが知りたい場合は、学校の方にご連絡ください。

*進路の連絡事項は、3年活動室に掲示します。毎回チェックしてください。

☆これからの進路実現に向けてのお願い

3年生全員の進路開拓をスムーズに進めていくために、あらためて大切なお願いがあります。
学校でも継続的に指導していますが、ご家庭でもぜひ一緒にご確認ください。

1、学校からの配布物や連絡を必ず当日中に保護者の方に渡す（伝える）こと及び、確認していただくこと。

学校から配られているプリントや配布物。毎日保護者の手に確実に渡っていますでしょうか？これまでの保護者会や二者面談の中で「子どもが全く手紙を出さない」、「配られてからずいぶん経ってから受け取ることがある」というご相談が非常に多く寄せられてきました。今年度はこれまで以上に重要な手紙、期限が遅れてしまうと大変な手紙が増えてきます。毎日必ず「今日の配布物/連絡」をご家族で共有していただくようお願いいたします。できれば直接受け取って一緒に内容を確認していただければ幸いです。

2、提出物の期限を守って提出すること。

たとえプリント1枚でも、提出物の期限を守ることはとても重要です。入試事務では、ほんの1日あるいは1時間であっても、期限を過ぎると受付をしてもらえないことがあります。内容によっては、個人1人が困るだけではなく、他の大勢にまで影響がでることがあります。また期限内に提出したとしても、内容に不備が見つければ、差し戻しになり、また新たな書類を最初から作り直しになってしまうこともあるので、提出前に内容の詳細を点検するという点にもご留意ください。進路関係の書類だけでなく、教科の課題やその他の提出物も同様の意識を持って「提出物の期限を守る」ということを習慣にしていきましょう。

3、学校でも家庭でも「大人任せ」・「子供任せ」にならず、小さなことでもコミュニケーションをとって進めること。

進路を決定するまでにはご家族の協力が不可欠ですが、その人生を歩んでいくのは生徒1人1人です。本人の意思や適性に合う道を切り開いていくためには、生徒自身の主体的な考えとともに、大人の広い視野からの助言や精神的支えが必要です。大人と中学生ですので、経験や価値観には差があって当然で、時には意見の相違や摩擦が生まれることがあります。しかし、そこで「大人任せ」や「子供任せ」にせず、対話を大切にしていきましょう。普段からいろいろな話をしていくことが、相互に納得のいく進路実現につながっていくと思います。

以上のことをお願いします。約10か月後、学校と生徒と保護者が力を合わせて困難を乗り越えた先に、より納得した進路実現になることを願っています。